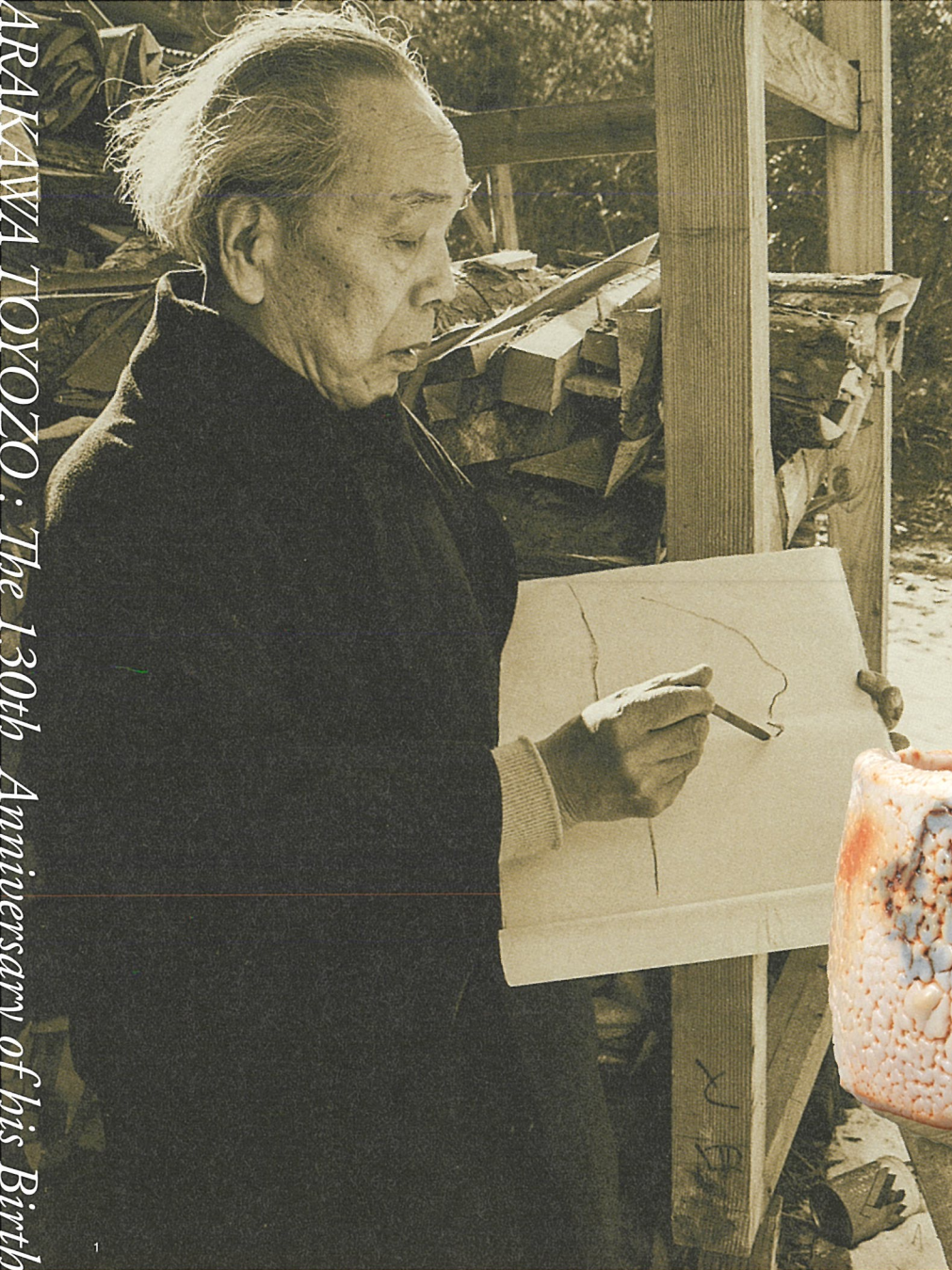


ARAKAWA TOYOZO: The 130th Anniversary of his Birth



2024年  
9月14日(土)・11月17日(日)  
岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

【開館時間】 10:00～18:00 (入館は17:30まで)  
【休館日】 9月17日(火)、24日(火)、30日(月)、10月7日(月)、15日(火)、17日(木)、18日(金)午前  
【主催】 生誕130年荒川豊蔵展実行委員会(岐阜県現代陶芸美術館、岐阜新聞社、岐阜放送)  
【特別協力】 国立工芸館

生誕130年  
荒川豊蔵展

「清流の国ぎふ」文化祭2024

1.丹波にて 1977年 撮影:三浦悠  
2.染付閑居作陶之図四方皿 1971年 岐阜県美術館蔵  
3.志野茶碗 銘 氷梅 1970年 国立工芸館蔵 撮影者:エス・アンド・ティ フォト Photography by S&T PHOTO

岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5  
(セラミックパークMINO内)  
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101  
URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭  
「清流の国ぎふ」文化祭2024  
ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～  
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)



# 生誕130年 荒川豊蔵展

「清流の国ぎふ」文化祭2024

桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを自ら発見した陶片により実証し、そして「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者(人間国宝)となった岐阜県出身の荒川豊蔵(1894-1985)。生誕130年の機会に、現代へと続く美濃陶芸の先駆者であり、そして近代日本の陶芸をリードした、荒川の人となりを取り返ります。本展覧会では、初期から晩年までの軌跡をたどりながら、陶芸をはじめ書画や収集の品々、交友や暮らしぶりをうかがう資料などで、その制作姿勢やまなごしを紹介します。そのなかには、若き頃、画家を志した荒川が、終生絵を描き続け、愉しんでいた姿もごらんいただけるでしょう。約180点の作品と資料により荒川豊蔵芸術の神髄に迫ります。

## 関連催事

### ◇水月窯の汲出茶碗に絵付けをしよう

荒川豊蔵が考案した水月窯定番の汲出の絵付け体験です。指をつかって梅花文の絵付けをします。水月窯見学とセットのプランと、美術館で展覧会鑑賞とセットのプランがあります。

A: 荒川豊蔵ゆかりの「水月窯」を見学し汲出茶碗の絵付け体験をしよう  
9月15日(日) 会場: 水月窯

B: 「荒川豊蔵展」を鑑賞し汲出茶碗の絵付け体験をしよう  
9月16日(月・祝) 会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム  
講師: 水野繁樹(水月窯) 参加費必要・要事前申込[受付開始 8月16日(金)]

セラパークあそび隊! コラボレーション企画

### ◇荒川豊蔵展でみて・つくって・たのしむ茶道具 : My 茶約をつくらしてみよう

9月21日(土) 10:15~15:00  
会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム  
協力: 岐阜県立森林文化アカデミー  
参加費必要・要事前申込[受付開始 8月24日(土)]

### ◇記念講演会「人間国宝 荒川豊蔵の作品世界とその魅力」

9月22日(日) 14:00~15:30  
会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム  
講師: 唐澤昌宏(国立工芸館館長)  
聴講無料・要事前申込[受付開始 8月24日(土)]

### ◇「生誕130年荒川豊蔵展」記念呈茶

荒川豊蔵が好んだお茶を豊蔵の茶碗で一服。見て、触れて、味わって、荒川豊蔵を感じてみませんか。点て出しの呈茶で楽しめます。

10月5日(土)・10月6日(日)  
各日開始時間 ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~ ⑤15:00~  
会場: セラミックパークMINO茶室  
席主: 豊場佳子  
要料金・要事前申込[受付開始 8月31日(土)]

### ◇特別ギャラリートーク

10月12日(土) 14:00~15:00  
講師: 加藤桂子(荒川豊蔵資料館学芸員)  
参加無料・事前申込不要・要観覧券(高校生以下は無料)

### ◇ギャラリートーク(当館学芸員による展示解説)

9月29日(日)、10月27日(日)、11月10日(日) 各日14:00~  
参加無料・事前申込不要・要観覧券(高校生以下は無料)

他にも、会期中にさまざまなイベントを開催します。詳しい内容や申込方法、ここに掲載していないイベントについては、当館ウェブサイト等でお知らせいたします。

同時開催 / 10月18日(金)~11月17日(日)

- 「清流の国ぎふ」文化祭2024 Ways of Earth ハンガリー・日本陶芸作家交流展
- 美濃焼展(セラミックパレー展)



1.志野水指 1938-41年 岐阜県現代陶芸美術館蔵 / 2.古九谷風石庭の図平鉢 1941年 荒川豊蔵資料館蔵 / 3.黄瀬戸破竹花入 1954年 荒川豊蔵資料館蔵 / 4.瀬戸黒茶碗 銘 寒鴉 1960年以前 岐阜県美術館蔵 / 5.志野茶碗 銘 朝陽 1969年 国立工芸館蔵 / 6.壺に桃花流水之図 1980年 国立工芸館蔵(5.6.撮影者:ニューカラー写真印刷 Photography by New Color Photographic Printing Co., Ltd.) / 7.染付灌園図四方飾皿 1972年 荒川豊蔵資料館

観覧料: 一般1,000円[900円]、大学生800円[700円] ※高校生以下無料  
前売券: 一般800円、大学生600円 ※岐阜県現代陶芸美術館受付にて販売(8月中旬予定)

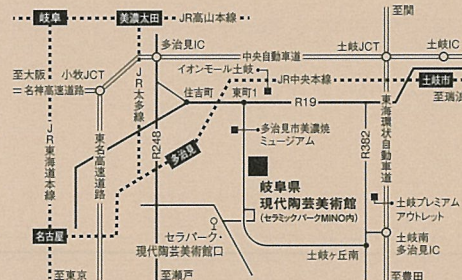
※[]内は20名以上の団体料金 ※以下の手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

## 国際陶磁器フェスティバル美濃'24 7館入場セット券

当日: 1,500円、前売: 1,200円  
国際陶磁器フェスティバル美濃'24 / 10月18日(金)~11月17日(日)  
詳細、前売券の発売期間については当館ウェブサイトをご確認ください。

ここでも荒川豊蔵作品に出会える! 7館入場セット券利用 ※詳細は各館へお問い合わせください。

- 荒川豊蔵資料館 / 可見市久木利村下入会352番地 TEL 0574-64-1461  
荒川豊蔵生誕130周年記念 特別展 豊蔵の志野・瀬戸黒 ~美濃桃山陶への挑み~  
2024年10月4日(金)~12月1日(日)  
荒川豊蔵資料館では、荒川豊蔵の居宅(旧荒川豊蔵邸)、陶房などを無料公開しています。
- 多治見市美濃焼ミュージアム(ギャラリー S3) / 多治見市東町1-9-27 TEL 0572-23-1191  
「荒川豊蔵から始まる現代の志野」展  
2024年10月12日(土)~2025年2月24日(月・振休)



- 【電車でのアクセス】  
東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え/多治見駅から  
○タクシー 約10分  
○多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分→「セラミックパークMINO」下車 ※土・日・祝のみ運行  
○東鉄バス「瑞浪駅前」[妻木上郷][駄知]行き 約15分→「セラパーク・現代陶芸美術館」下車→徒歩約10分
- 【お車でのアクセス】  
○東京方面・東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由  
○富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由  
○長野方面・中央自動車道→土岐JCT経由 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分  
○大阪方面・名神高速→小牧JCT経由 中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分→「東町1」の交差点を右折

岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101  
URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>  
X [@gmomca](http://twitter.com/gmomca)  
Facebook <http://www.facebook.com/cpm.gifu.museum>